

[第 24 回定時株主総会 主な質疑応答 (要旨)]

- Q1. 「パチスロ モンスターハンター」の販売台数の一部が 2013 年 3 月期にズレ込んでいるが、これを含めた販売台数の見込みは？
- A1. 同機種 of 期ズレした台数は約 4 万台。これを含めて、2013 年 3 月期 of 遊技機販売台数は 48 万台を見込んでいる。なお、48 万台 of 内訳については、パチンコ遊技機及びパチスロ遊技機が同程度になるものと見ている。
- Q2. 「成長するビジネスモデル」で育成した知的財産 (IP) は、2013 年 3 月期に発売する遊技機に搭載していくのか？
- A2. 2013 年 3 月期は 1 機種、2014 年 3 月期は 1~2 機種に、「成長するビジネスモデル」で育成した IP を搭載していく予定である。是非ともご期待頂きたい。
- Q3. 今後、どのような IP を取得していくのか？
- A3. 2012 年 3 月期は非常に大きな IP を取得した。こうした実績を着実に積み重ねることで、今後もトップクラスの優良 IP を取得していく。
- Q4. 月刊ヒーローズの現在の状況及び今後の展開は？
- A4. 月刊ヒーローズは、現状、セブン-イレブンでの販売が順調に推移している。今後の展開は、まずは今秋にコミックスの第 1 弾を発売する。その後、「成長するビジネスモデル」で IP の価値最大化を図り、インタラクティブメディア、コンシューマプロダクト、パチンコ・パチスロなどのマーチャンダイジングを通じて利益の拡大を目指していく。なお、コミック誌からの IP 創出及び育成は時間を要するが、中長期的にご期待頂きたい。
- Q5. 今後、どのような遊技機を企画・開発していくのか？
- A5. サミー、SANKYO、京楽産業.、カプコン、ユニバーサルエンターテインメントなどの提携メーカー各社と当社の力を融合し、ファン層の拡大、つまり市場全体の拡大に資するエンタテインメント性の高い遊技機を企画・開発していく。
- Q6. インターネット上で、「パチスロ モンスターハンター」の営業方法について風評があるが、その対策は？
- A6. インターネット上での風評については、まずは株主の皆様にご心配をおかけしたことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。  
「パチスロ モンスターハンター」は、営業開始時から多くの受注を頂いたが、タイ洪水の影響で一部部材の調達が困難となり、納入時期を巡って一部のパチンコホールに大変ご迷惑をおかけした。今後は、メーカーとの連携を強化し改善に努めていく。
- Q7. 今後の利益計画は？
- A7. 今後の利益計画は、「成長するビジネスモデル」に対する投資家の皆様からのご意見や、メディアに対するアプローチのあり方なども勘案して、鋭意検討を進めている。高い成長率を実現する計画を早期に発表したいと考えている。

Q8. 株主優待について、具体的な検討状況は？

A8. 株主優待は、皆様からのご意見を踏まえ、様々なケースを調査・研究している。株主の皆様にご納得頂ける制度を検討していきたい。

Q9. 中期経営計画（中計）の進捗は？

A9. 中計の進捗は、パチンコ・パチスロ以外のエンタテインメント領域が、中計の営業利益目標を大きく上回り推移した。一方、パチンコ・パチスロ事業は、中計策定時と比較して遊技機市場が一時的に縮小した影響もあって、当社の販売台数を増加させることが難しかった。

今後は、IP を主体とした事業を展開することで、パチンコ・パチスロのみならず多様なメディアでの展開を加速させ、市場環境に左右されない強い企業体質を作る。

Q10. 取締役及び監査役の報酬額はどのように決定しているのか？

A10. 取締役及び監査役の報酬額は、業績、職責、パフォーマンス、経済動向、雇用情勢をはじめとした多様な項目を勘案し、総合的に判断している。

以上